

令和3年3月発行

今号では、本年度、愛媛県から受託している「集落活性化意識醸成支援事業」において、その実施地区の一つである「西予市明浜町渡江地区」の活動についてご紹介します。同地区では、みかん農家の高齢化により後継者不足や生産技術の継承・育成が大きな地域課題として顕在化しています。一方で、農家の収益の確保を図るため、地域の女性たちが協力して、これまで生果として出荷できなかった傷んだみかんの皮を剥いで「冷凍みかん」として、ふるさと納税の返礼品として生産しています。また、ふるさと納税でみかんを返礼品として指定していただいた方を対象に、「みかんボランティア」を募集することで関係人口の創出などにも取り組んでいます。本紙が皆さまの地域で活動される上で、ご参考になれば幸いです。

西予市明浜町渡江地区

キーワード：冷凍みかん、ふるさと納税返礼品、PR動画制作

★西予市明浜町渡江地区について

西予市明浜町渡江地区は、松山市内から車で約1時間40分のところにある人口167人（うち小学生4人）、世帯数は69世帯、高齢化率は50.9%の小さな集落です。同地区は、南側に宇和海を臨み、太陽の光と太陽が照らす海からの光によって、美味しいみかんが豊富に収穫できる地域です。

一方で、高齢化の進行により、みかん農家の後継者不足が深刻化している地域でもあります。



西予市明浜町渡江地区

★「集落活性化意識醸成支援事業」とは

えひめ地域政策研究センターでは愛媛県からの委託を受け、平成30年度から2年間に渡って「集落活性化モデル構築事業」を実施しました。3つのモデル地区（伊予市三秋、松野町蕨生・奥野川、愛南町緑）における人口の増加については現時点では結びついていないものの、地域住民が主体的に取り組みを実践する「意識醸成」については大きく進展が図れました。その成果を踏まえ、本年度から愛媛大学社会共創学部先生と学生たちとも連携しながら、集落活性化に向けた地域住民の「意識醸成」の仕組みを全県的に展開するとともに、併せて地域に継続的に関わっていく「関係人口」づくりを促進するため本事業を開始しました。当センターでは関係各位と連携・協働しながら、地域活性化を一過性の機運醸成で終わらせることなく、地域住民が主体となった持続可能な集落の活性化を目指す体制づくりをサポートしています。

★これまでの渡江地区の取り組みについて

●渡江地区ではこれまでに、次のような取り組みを実施してきました。

- ・大学連携SUIJI（平成24年～）
- ・「渡江から一步を踏み出す会」設立（平成26年～）
- ・ふるさと納税の返礼品として「冷凍みかん」の製作（平成28年～）
- ・みかんボランティアの受入れ（平成30年～）
- ・冷凍みかんの加工場の改築（平成31年～）
- ・西予市市上げ型交付金活用による地域活動（令和元年～）

歌舞伎映えプロジェクト、とのえ食堂の開設、高齢者寄り添い事業等



西予市明浜町渡江地区

★本事業における活動内容（愛媛大学社会共創学部の学生と連携）について

①「PR動画」の制作

今後、首都圏で開催される予定の「移住フェア」や「農業フェア」などで活用するため、渡江地区のPR動画を「ワーケーション」をテーマに、学生さんらに制作していただきました。実際の動画撮影ではドローンを活用するとともに、その操作方法に詳しい愛媛大学国際連携推進機構の先生にもご指導いただきながら、渡江地区の山と海側の両面から美しい風景を撮影しました。また、視聴していただく方々に一層親近感を持ってもらうため、若い学生目線から、雪の降る寒い冬に海の中に飛び込む姿なども動画に組み入れました。



PR動画のお披露目

②学生団体「^{みかん}未完商店」の設立について



冷凍みきゃん

学生たちに企業家精神を養ってもらうこと、及び責任感を持って活動していただくために、愛媛大学社会共創学部の学生の中から有志のメンバーを募って、令和2年12月に学生団体「未完商店」を11名で設立しました。同団体の主な活動内容は、渡江地区のホームページ「TONOE ZUKAN」に開設したオンラインショップで、渡江地区の特産品であるみかんの生果の他、「冷凍みきゃん」などの加工品の委託販売に携わっていただく予定です。

③渡江地区のホームページのリニューアルについて

これまでしばらくの間、更新されずに放置されていた「渡江から一歩を踏み出す会」のホームページを「TONOE ZUKAN」（とのえずかん）として、令和3年3月上旬にリニューアルしました。今後は渡江地区で行われた学生たちの活動状況をブログにまとめた情報なども含め、同地区の情報発信のツールとして活用していく予定です。さらに、今回のリニューアルに併せて、同ホームページ内には先述したとおり「冷凍みきゃん」等のオンラインショップを開設しています。今後の課題としては、同サイトへの来訪者をいかに増やし、一人でも多くのお客さまにご購入していただけるかです。

是非、同サイトをご覧ください、ご購入を検討いただければ幸いです。(URL:<https://tonoezukan.jp/>)

★取材後記

島根県にある（一社）持続可能な地域社会総合研究所の藤山浩所長がシミュレーションした渡江地区の約50年後の将来人口は13人、高齢化率92.1%となっています。一方で、同地区に1年おきに「30歳代前半夫婦が4歳以下の子どもを1人連れてU・Iターン」した場合、現状対比で半減はしてしまうものの、集落消滅の危機には至らないことも併せて示していただきました。今後も、これまでの地域活動を地道に継続しながら、まずは関係人口の創出に向けた取組みを行うことで明るい地域社会を次代に残すことができると考えます。今回、本紙でご紹介しました渡江地区における地域活性化に向けた取組みが、愛媛県内各地域で活動されている皆さまのご参考になれば幸いです。

この情報誌の関係サイト/「えひめ地域づくり協働体」 Facebook

地域の活動情報の連絡先/この情報紙に関するお問合せ先

愛媛県企画振興部地域政策課

TEL: 089-912-2236 E-mail: chiikiseisak@pref.ehime.lg.jp

(公財) えひめ地域政策研究センター

TEL: 089-926-2200 E-mail: info@ecpr.or.jp